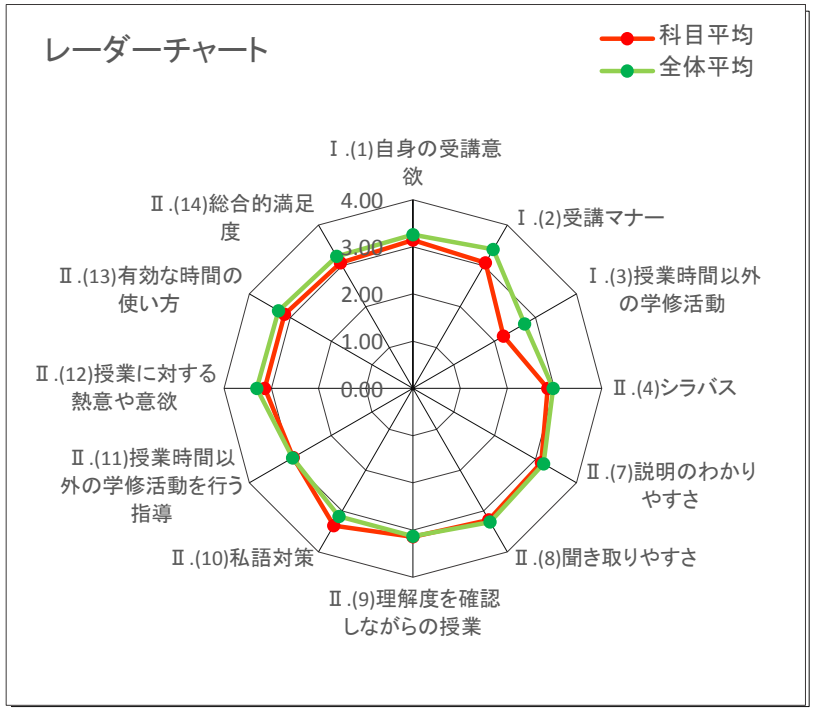
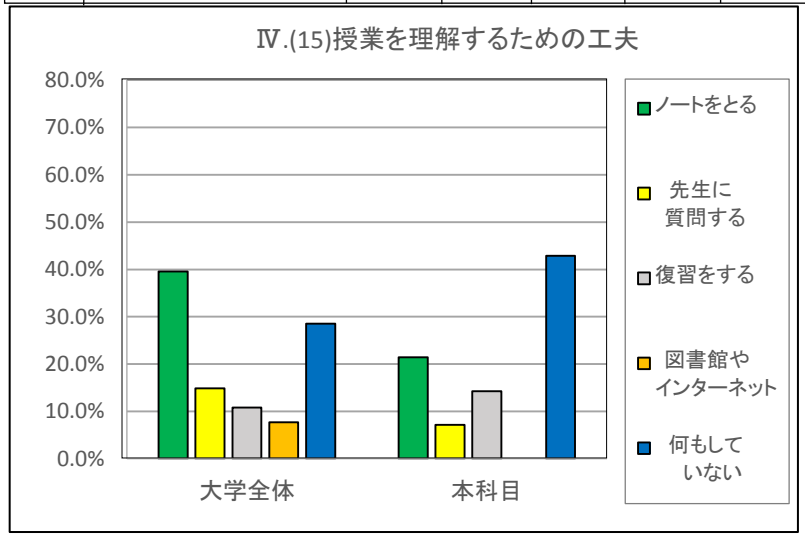
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.14	3.26
	Ⅰ.(2)	3.07	3.40
	Ⅰ.(3)	2.21	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.86	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	3.14	3.20
	Ⅱ.(8)	3.21	3.27
	Ⅱ.(9)	3.14	3.13
	Ⅱ.(10)	3.36	3.13
	Ⅱ.(11)	2.93	2.94
	Ⅱ.(12)	3.14	3.31
	Ⅱ.(13)	3.14	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	3.07	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	42.9%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.81	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	3.12	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	3.07	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	14404/14454
科目名	ヒューマンコンピュータインタラクション/ヒューマンインターフェース
教員名	

①授業計画の達成度について

アンケート用紙を確認するとシラバスの内容については殆どの学生が履修に役立ったと回答している。しかし、4名の学生が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答しているので、もう少し一般的な単語を使い授業内容をイメージしやすいシラバスを作成するように心がける。また、本授業はコンピュータを使ったことのある人にはイメージしやすい内容のため、シラバスにそって計画通りに授業は実行した。

②授業の進め方について

授業の進め方として、一番最初に前回授業の復習小テストを実施し、次に前回実施した復習小テストの答え合わせを復習しながら進め、その後通常事業を実施した。教員の声の大きさ、授業実施環境、授業の進め方についてはアンケート結果から多くの学生がよかったと答えている。よって、授業の進め方については問題ないと考える。しかし、授業の内容については難しいと考える学生が多く見られた。これは授業内容についてはイメージをしやすいと思うが、これを理論的、技術的に説明されると覚えることが多く、この点について難しいと感じている学生が多くいると思われるので、写真などイメージと単語を関連付けたり、同じ単語を繰り返し説明を実施していく。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果から講義内容・方法については全体平均と殆ど変わらなかったが、授業時間以外の学習活動についてのアンケート結果が低かった。しかし、学生が授業を理解するための工夫については「復習する」が平均以上のため、時間外の学習活動については2分化したのではないかと思われる。授業内容が学生にとっては身近な内容だったため授業外での勉強のための小テストがうまく機能していなかったので、今後は授業外の勉強時間を増やさせるために、授業内での課題も多く取り込んでいく。

奈良学園大学